

子どもの急病

「こんな時どうすればいいの」



阪神北広域こども急病センター 編
監修/センター長 山崎武美

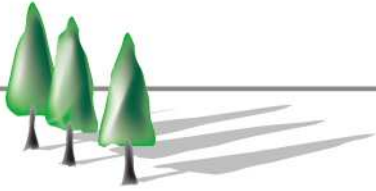


はじめに

夜間、休日など通常の診療時間外に、急にお子様の具合が悪くなったときの診療ガイドです。参考にし
て適切な診療を受けましょう。

緊急度は3段階としました

- 緊急度1** 迷わず救急車を呼ぶ
- 緊急度2** 早めに休日夜間急病センターを受診(救急車を呼ぶ必要はない)
適切な医療機関がわからないときは電話相談を利用
- 緊急度3** とりあえず自宅で様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待つ
(ただし、連休・年末年始は翌日に休日夜間急病センターを受診してください)



こんな時どうすればいいの

もくじ

1. 救急車を呼ぶ時
 2. 発熱(38℃以上の熱が出た)
 3. せき、喘鳴、息苦しい、呼吸が変
 4. 嘔吐、下痢
 5. 腹痛
 6. けいれん
 7. じんま疹、虫さされ、
急に出現する発疹(皮膚のぶつぶつ)
 8. やけど
 9. 誤飲、誤嚥(変なものを食べた、飲みこんだ)
 10. 転倒、転落、頭部打撲
 11. 鼻出血
 12. 不機嫌、泣き方が気になる
- 阪神北広域こども急病センターの
受診について
 - 電話相談のご案内

1. 救急車を呼ぶ時

- 緊急に医療機関へ搬送しなければならない場合は、迷わずすぐに救急車を要請してください。
- 救急車を呼ぶ状態は、精密検査や入院治療ができる病院への受診です。阪神北広域子ども急病センターでは対応できない病状です。



◆こんな時は緊急を要する状態で迷わず救急車を呼んでください

緊急度1

- 意識がない、意識がおかしい、呼んでも反応しない
- 呼吸をしていない、呼吸が弱い、呼吸ができない(呼吸困難が著しい)
- チアノーゼがひどい(唇の色が紫色)
- 大量の出血・下血
- お腹がパンパンに張って、意識がおかしい
- 股のつけね、陰のう部が腫れて色が変わっている、不機嫌、元気がない
- 41.5℃以上の高熱で、いつもの様子と明らかに違う

◆ 救急車の呼び方

— 次の要領で通報してください —



救急隊



- | | |
|------------------------|--|
| 1. | 119番にダイヤルする |
| 2. 「火事ですか？
救急ですか？」 | ▶ 「救急です」と答える |
| 3. 「どうされましたか？」 | ▶ 子どもの様子を伝える |
| 4. 「住所・氏名を
教えてください」 | ▶ ○○市/区○○町○○番地です
(近くに目印となるものがあれば説明する) |
| 5. | 電話を切ってよいか確認してから、電話を切る |

— 救急車が到着するまでにすること —

1. 処置の指示があれば、それを行なう
2. 協力者がいるときは、外で救急車の誘導をしてもらう
3. 健康保険証・母子手帳・お金(診察代・帰りのタクシー代など)・診察券を用意しておく

お願い

救急車の適正な利用をお願いします。

- 救急車の利用ルールとマナーを守りましょう。

2. 発熱 (38°C以上の熱が出た)

◆ 3カ月未満の乳児の発熱

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診してください。

3カ月未満の赤ちゃんの38°C以上の発熱は、必ず検査が必要です。この時期の赤ちゃんには、重症であっても熱以外に症状が目立たないことがあるからです。

◆ 3カ月以上の乳幼児の発熱

1) 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診してください。

- 元気がない、活気がない、ぐったりしている
- 12時間以上、おしっこがでない
- よく眠れず、ぐずっている
- 呼吸がハーハーと苦しそう
- 水分を取るのを嫌がる

2) 上記症状がなければ

緊急度3

とりあえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待つ。



◆ 発熱時の対処方法



- 熱の出始めは温かめに、熱が出きったら涼しく
- 暑そうなら涼しく、寒そうなら温かく
- 水分補給をこまめにしましょう
- 食事は無理にすすめない
- 着替えもこまめにしましょう
- 気持ち良さそうなら、冷やしてあげましょう
- 熱があっても元気そうなら、解熱剤は使わない
- 解熱剤は3カ月未満の赤ちゃんには使わない

一口メモ

発熱について

- 38°C以上の場合は熱があるとみなします。38°C未満の場合は必ずしも意味のある発熱ではありません。
- 発熱は身体の中に何かが起こったことを知らせてくれるサインであり、身体を守ろうとする有益な反応と考えられています。
- 熱そのもので脳が障害を受けることはありません。
- しかし、熱性けいれんの既往や熱でつらそうなのは解熱剤を使用してください。

3. せき、喘鳴、息苦しい、呼吸が変

◆ 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

すぐに休日夜間急病センターを受診してください。

1. 声がかすれる。オットセイの泣き声みたいにせき込む
2. ゼーゼー、ヒューヒューいう
3. 息苦しそう、呼吸がはやい
4. 横になる(仰向けにする)と症状が強くなる
5. くちびるが紫色(チアノーゼ)
6. ぐったりして、水分を取りたがらない
7. 発赤・じんま疹を伴う

◆ 上記症状がなければ

緊急度3

とりあえず自宅で様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待つ。



一口メモ

こんな咳の時はクループ症候群(急性喉頭炎)を疑います。

- 息を吸うときにゼーゼーとなり、声がかすれ、オットセイの泣き声または犬の遠吠様のせき込みが特徴。普通は、夜間から明け方にひどくなります。
- 苦しそうなときは、座位をとり十分な加湿を与えてください。
- 原因の多くはウイルスですが、細菌感染症の場合もあります。
- 苦しそうなときは、すぐに受診してください。

4. 嘔吐、下痢

◆ 生後3カ月未満の乳児

1) 嘔吐または下痢、もしくはその両方を繰り返す

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診してください。

◆ 生後3カ月以上の乳幼児

1) 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

休日夜間急病センターを受診してください。

1. おなかが張っている
2. 血液や胆汁を吐く
3. 便に血が混じる
4. 激しい痛み、元気がない
5. 12時間以上下痢が何度も続いている
6. くちびるが乾いている
12時間以上おしっこが出ない
目がくぼんでいる
7. 頭痛を訴え、ボーッとしている。ちょっとした刺激に過敏に反応する



2) 左記症状がなければ

緊急度3

とりあえず自宅で様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待つ。

◆ 嘔吐・下痢の対処方法

◆ 水分の補給・脱水の予防が大切

- 嘔吐・下痢で失われた水分を補給することが必要です。水分・塩分・糖分を適切に補える経口補水液(OS-1)は吸収が早く脱水を改善します。
- 嘔吐したら、1～2時間は水分・食事は摂らずにおきましょう。
- 1～2時間経ってから、10～30ccくらい少量ずつ開始し何回にも分けて与えてください。
- 食事は水分補給をしても嘔吐しなくなってからにしましょう。

5. 腹痛



◆ 次のような症状が一つでもあれば

緊急度1

迷わず、救急車を呼んでください。

1. お腹がパンパンに膨らんでいる
2. 股のつけね、陰のう部が腫れて色が変わっている

一口メモ

腸の中に腸が入りこむ病気「腸重積」

- 腸重積症は、望遠鏡の筒のように腸が腸の中に入りこみ、腸閉塞を起こす病気。おもに、3~4か月から1~2歳の子どもに見られます。
- 突然、陣痛の様に周期的(5~15分ごと)に苦しうに不機嫌に泣き、これをくり返します。顔色が悪くなったり、吐いたりすることがあります。
- おむつを開けてみると、いちごジャムのような真っ赤な血便が……。こんなときは、まず腸重積症と違って間違いありません。
- 治療の基本は、高圧で空気や薄いバリウムを肛門から入れ、重なり合った腸を元に戻します。24時間以内であれば、多くの場合は手術をしなくても大丈夫です。しかし、どうしても元に戻らないときは緊急手術を行います。
- すぐに、休日夜間急病センターを受診してください。

◆ 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診してください。

1. 血便がみられる
2. 不機嫌が続く、10分おきくらい(間欠的)に苦しう
3. 痛みがだんだんひどくなる。がまんができない。眠れない痛みが2時間以上持続する
4. さわると嫌がる
5. 発熱(38℃以上)を伴う

◆ 上記症状がなく次の症状であれば

緊急度3

とりあえず自宅様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待つ。

1. 数日、便が出ていない
2. おへその周りを痛がる
3. がまんができる
眠れる程度の軽い痛み
4. 元気そう



6. けいれん

◆ こんな時は、迷わず救急車を呼んでください

緊急度1

1. けいれんが10分以上続いている
2. けいれんが止まっても意識が変
3. 呼吸が弱い。チアノーゼ(唇の色が紫色)が続く
4. 激しい頭痛を訴える
5. 生後6か月未満の乳児
6. 嘔吐、失禁を伴う
7. 何度も繰り返しけいれんが起こる



1) 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診するか電話相談を利用!

1. けいれんは止まって、今は落ち着いている
2. はじめてのけいれん
3. 6歳以上の小児
4. けいれん時の体温が38℃以下だった(無熱けいれん)
5. けいれんに左右差がある
6. けいれんかどうか分からない
今は落ち着いている



2) 左記症状がなく次の症状であれば

緊急度3

とりあえず自宅で様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

1. すでに診断がついており、今までに何度か起こったことがあるけいれん発作

◆ あわてないで落ち着いて、けいれんの様子を観察して対処してください

観察のポイント

1. いつから、どんなけいれんが、何分くらい続いたか
2. 右半身、あるいは左半身だけのようなけいれんで、左右差はないか
3. 体温を計ってください

対処方法

- 揺さぶったり、たたいたりしない
- 吐くことがあるので誤嚥しないように、顔を横に向け、衣服をゆるめる
- 口の中に割り箸や指を入れない(嘔吐による窒息防止)

一口メモ

泣き入りひきつけ

- 子どもが泣き入り、息を吸い込んだまま息を止める。唇は紫色を呈し、身体が硬直、一瞬気を失う。
- まずは落ち着かせる。体を揺すったり、騒ぎ立てたりしない。普通は、まもなく呼吸を始めます。

7. じんま疹、虫さされ、 急に出現する発疹(皮膚のぶつぶつ)

◆ こんな症状が一つでもあれば、
迷わず救急車を呼んでください

緊急度1

全身の赤い斑状の皮膚(じんま疹)に伴って

1. 不穏状態、ぐったりしている
2. まぶたのむくみ、顔面や頸部の腫脹
3. 息苦しい、声が出ない、咳が止まらない

◆ 上記の症状がない場合

1) 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診してください

1. 痒みを伴って、盛り上がった赤いリング状の皮膚⇒じんま疹を疑う
2. 暗い紫色の小さな点々(紫斑)の出現に腹痛・関節痛を伴う⇒血管性紫斑病を疑う
3. 高熱が続き、頸部リンパ節の腫脹や不定形の発疹が出現⇒川崎病を疑う



2) 左記の症状がない場合

緊急度3

とりえず自宅様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

※ウイルス(突発性発疹、麻疹、風疹、水痘、リンゴ病など)や細菌(溶連菌)による発疹は、水分がとれ機嫌もよければ、緊急度3です。



一口メモ

救急車を呼んでください!

「アナフィラキシーショック」

- アナフィラキシーは、薬剤(注射)、昆虫(ハチなど)による刺傷や特定の食物の摂取などによる重篤な全身のアレルギー反応です。
- ぶつうは数分以内に、全身発赤・じんま疹が出現し、重篤な場合は意識低下などのショック症状を呈し、呼吸困難を起します。

8. やけど

◆ 範囲が広い(大やけど)時は 迷わず救急車を呼んでください

緊急度1

1. 子どもの手のひら10個くらいより広い範囲のやけど
2. 皮膚が黒く焦げていたり 白く変色しているやけど

※子どもの全身管理とやけどの手当てが可能な病院への搬送が必要です。救急車を呼んでください。

◆ 比較的小さい範囲のやけどの場合

1)こんな時は 緊急度2

- 子どもの手のひら10個くらいより小さいが、水ぶくれができています

傷(やけど)の手当が必要です。処置ができる皮膚科または外科系の医療機関を受診してください。適切な医療機関がわからないときは電話相談を利用。

2)次の場合は 緊急度3

- 範囲は比較的小さく、赤いだけで水ぶくれはできていない

とりあえず自宅で様子を見て皮膚科または外科の診療開始時間まで待つ。

◆ 応急処置・手当

- まずはとにかく冷やす
- なにも塗らない
- 冷やす時の注意点
 1. 流水(水道水)ですぐに冷やす
 2. 衣服は脱がせずそのまま冷やす
 3. 最低20~30分は冷やす
 4. 水ぶくれは破らない



一口メモ

事故を防ごう『やけど』は事故です。

- やかん・湯沸かし器の置き場所。
- 食卓の上の熱湯:食卓にはテーブルクロスは使わない。
- お風呂の湯は沸かしすぎない。
- 子どもの頭より高いところで熱いものを運ばない。
- ストープの位置。

9. 誤飲、誤嚥 (変なものを食べた、飲みこんだ)

◆ こんな症状が一つでもあれば 迷わず救急車を呼んでください

緊急度1

1. 意識がおかしい
2. 呼吸が弱い、急に咳き込んで息苦しそう
3. 顔色が悪い、チアノーゼ

◆ 応急処置をする前に確認すること

1. 「何を」、「どれくらい」、「いつ」を確認する
2. すぐに吐かせるものと、吐かせてはいけないものがある!
3. 害にならないものがある(無処置)



※処置・対応の方法は
(公財)日本中毒情報センターで相談できます

- 大阪中毒110番(365日 24時間対応)
072-727-2499(情報提供料:無料)
- つくば中毒110番(365日 9時~21時対応)
029-852-9999(情報提供料:無料)
- タバコ専用電話(365日 24時間対応)
(テープによる一般市民向け情報)
072-726-9922(情報提供料:無料)

◆ すぐに医療機関を受診してください 緊急度2

※処置できる病院は限られています
適切な医療機関がわからない時は電話相談を利用

1)吐かせてはいけないもの※

- 何を飲んだか分からない ● マニキュア・除光液
- ボタン電池 ● コイン ● 灯油・ベンジン ● 洗剤・漂白剤
- しょうのう(樟脳)

※これらの物質は、吐かせると食道粘膜を傷めたり
薬剤性の肺炎を起こしたりすることがあり危険です。



2)すぐに吐かせましょう

- タバコ ● ほう酸団子 ● ナフタリン・パラジクロルベンゼン
- 大量の医薬品 (防虫剤などに含まれます)

◆ 自宅で様子を見てください 緊急度3

身体には無害です
見える範囲で口の中のものを取り除いてください

- 化粧品 ● シャンプー ● 石けん ● マッチ ● クレヨン
- シリカゲル ● 体温計の水銀 ● 保冷剤 ● 植物活力剤

一口メモ

「タバコ」の誤飲について

- 水やジュースに浸したタバコは吸収が早く危険です。
すぐに吐かせてください。
- 吐かせ方:舌の奥を下に押し付ける。
- 牛乳や水は飲まないでください。ニコチンの吸収を速めます。
- たばこの管理と灰皿の始末を厳重にしてください。

10. 転倒、転落、頭部打撲

◆ こんな症状が一つでもあれば

緊急度1

迷わず救急車を呼んでください

1. 意識がおかしい
2. けいれんを起こしている
3. 吐く、顔色が悪い
4. 意識はあるが、反応が鈍い、ウトウトしている
5. 目や耳から出血している



◆ 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

早めに休日夜間に対応できる適切な医療機関(脳外科)を受診してください

1. 受傷直後に1分以内の一過性の意識消失があったが回復した
2. 1歳6ヶ月未満の乳幼児で頭皮に血腫(たんこぶ)がある

◆ 上記の症状がなくて、大声で泣けばひと安心

緊急度3

とりあえず自宅様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

※すぐに泣いたが眠ってしまったら、1時間後に一度起こして意識状態をみてください。

◆ 診療所を受診後も少なくとも24~48時間は状態を観察してください。変化があれば

緊急度1

脳外科を受診してください。救急車を呼んでください

観察のポイント

1. 意識の状態(レベルの低下、過度の睡眠)
2. 3回以上の頻回嘔吐
3. 強い頭痛が続く
4. 歩行障害
5. けいれんの出現



一口メモ

一過性意識障害(脳震盪)

- 打撲により脳が強い力で揺られると脳震盪を起こします。この場合、数分以内の意識消失、めまいや吐き気、軽く頭痛を訴えることがあります。
- 頭部打撲後は安静にして、打撲部を冷やしてください。通常、意識消失は数分で完全に回復しますが、早めに脳外科を受診してください。

11. 鼻出血



◆ まずは次のことを試してみましょう

1. 血液を飲み込まないように、下を向けさせます
2. 眉間を保冷剤などで冷やす
3. 鼻の中に何も入れないで、鼻翼(小鼻)全体を深くつまみ、鼻中隔を圧迫する
4. 鼻呼吸ができない状態で、約15分間持続的に圧迫する

◆ 止まらない場合は、耳鼻咽喉科の急病センターを受診してください

緊急度2

※適切な医療機関が分からない時は、電話相談を!

◆ 止まれば受診の必要はなく、自宅で様子観察してください

緊急度3

一口メモ

鼻出血看護の注意点

1. 上を向いて寝ると、血液がのどに流れ落ちてきて、咳や、吐き気の原因になります。
2. 首の後ろをたたくと、かえって出血を長引かせます。
3. 鼻の中にティッシュペーパーを入れると、鼻の粘膜を傷つけたり、取り出すときに固まった血液のかさぶたをはがしたりすることとなり、再び出血することがあります。
4. 飲み込んだ鼻血を吐いた場合、胃など消化管からの出血と間違ってしまうことがあります。心配ありません。
5. 鼻出血を何度も繰り返す場合は通常診察時間に耳鼻咽喉科を受診してください。

12. 不機嫌、泣き方が気になる

◆ 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診してください

1. 3か月未満で発熱を伴う
2. 熱はない、体温が低く感じる。または36℃以下の低体温
3. 間欠的(10分とか20分おき)に激しく泣く、吐く
4. 股のつけねや、陰のう部がはれている
5. 活気なく、ぐったりしている
6. 眠りがち、哺乳しない
7. 何かいつもと違う、不安だ



一口メモ

どうしたらよいてしょう?赤ちゃんの夜泣き

- 日中は機嫌もよく、哺乳も良好な赤ちゃんが、毎晩きまって泣き出すことがあります。生後3-4か月ころよりみられ、1歳6か月ころまで続きます。
- 原因は?
のどが渇いた?暑い?おむつがよごれた?不安?興奮?などが考えられますが原因がつかめないことが大部分です。
- どうすればよいてしょう?
背中をさすったり、子守唄を歌ったり、安心感を与えます。また、散歩やドライブなどで気分転換をさせましょう。
普段から日中に活動的な遊びをさせましょう。

公益財団法人 阪神北広域救急医療財団

阪神北広域こども急病センター

診療内容

- 中学3年生までの小児内科疾患の急病疾患に対応します。
- 引き続き診療が必要な場合は、後日「かかりつけ医」を受診してください。
- 必要に応じて、精密検査や入院治療ができる病院へ紹介します。紹介先は、原則として当日の当番病院です。
- けがや、やけどは対応出来ません。あらかじめ電話相談でお問い合わせください。

診療時間

受付時間

深夜0時00分～午前6時30分

受診の際用意するもの

- 健康保険証および乳幼児医療証、障害者医療証、ひとり親家庭医療証※(お忘れの際は、実費徴収し、後日の精算となります。)
- 他の病院でもらった薬、または薬の名前を書いた紙
- 母子手帳
- 予備のオムツ、着替え、哺乳瓶、ミルクなどの用意をお願いします。
- 診察券(再診の場合)



無断掲載禁止

電話相談のご案内



相談内容

- お子様の急な発熱や腹痛などの場合
- 受診しようかどうか?のお悩みの方
- 症状に対する対処法をお聞きになりたい方
- 担当の看護師が対応いたします

相談時間

- 急病センターの診療時間と同じです

専用電話 **072-770-9981**



〒664-0015 兵庫県伊丹市昆陽池2丁目10番地
(受付)TEL.072-770-9988 FAX.072-770-9905